

教育委員会定例会協議報告事項

令和8年3月24日

【報告事項】

- 令和7年度「教育環境を考える保護者懇談会」の実施状況及び栃尾地域の学校再編の状況について (学務課 資料P 1～2)
- 附属機関等会議報告について
 - ・ 令和7年度長岡市公立学校通学区域審議会 (学務課 資料P 3)
 - ・ 令和7年度第2回長岡市図書館協議会 (中央図書館 資料P 4)
 - ・ 令和7年度第2回長岡市水族博物館協議会 (科学博物館 資料P 5)
 - ・ 令和7年度第2回長岡市文化財保護審議会 (科学博物館 資料P 6)
 - ・ 第7回長岡市文化財保存活用地域計画策定協議会 (科学博物館 資料P 7)
 - ・ 令和7年度第3回長岡市子ども・子育て会議 (子ども政策課 資料P 8)

令和7年度「教育環境を考える保護者懇談会」の実施状況及び 栃尾地域の学校再編の状況について

1 令和7年度「教育環境を考える保護者懇談会」開催等状況

(1) 目 的

教育委員会では、少人数学級や複式学級の現状と課題を把握した中で、保護者や地域と、子どもたちが多様な考え方に触れ合えたり、集団としての活動の意義など、望ましい教育環境の在り方について、保護者と議論を進めていくことを目的に、令和2年度から地域に出向き、「教育環境を考える保護者懇談会」を開催しているもの

(2) 対象校（継続的に複式学級の編制が見込まれる小学校）

【対象校：10校】桂小、石坂小、太田小、十日町小、深沢小、宮本小、信条小
日吉小、山古志小、東谷小
【実施校：6校】桂小、十日町小、宮本小、信条小、日吉小、東谷小

※網掛けは統合が決定した小学校：桂小（令和9年4月）→ 浦瀬小と統合
東谷小（令和10年4月）→ 栃尾東小と統合

(3) 対象者

- ・小学校在籍児童（1～6年生）の保護者
- ・小学校区に居住する未就学児（0歳児～5歳児）の保護者

(4) 令和7年度懇談会等実施状況

ア 開催状況

学校名等	回数	備考
桂小学校	6回	4/25 学校統合に関する要望書受理
十日町小学校	3回	懇談会・アンケート実施
宮本小学校	1回	懇談会
信条小学校	4回	懇談会・アンケート実施
日吉小学校	3回	懇談会・アンケート実施
東谷小学校（詳細次頁）	6回	懇談会・アンケート実施

イ その他

地域名	回数	備考
川口地域	1回	未就学児保護者からの要望による勉強会

2 栃尾地域の学校再編について

(1) 経緯等

栃尾地域の少子化が著しく、令和 10 年度の小学 1 年生が 26 人と推定される。地域内の全ての小学 1 年生を集約しても 1 クラス分に満たないことから、市が地域の代表で組織する「栃尾地域学校再編検討会」を設置し、令和 6 年 7 月から検討会を 6 回開催した。

同検討会から、令和 10 年 4 月を目途に 3 小学校を 1 小学校へ、2 中学校を 1 中学校へ再編を検討するよう、令和 7 年 3 月に市に報告があり、市は令和 7 年 6 月から保護者、地域住民と 16 回の意見交換を行い、下記のとおり学校再編に合意した。

(2) 再編内容

① 小学校

- 令和 10 年 4 月に、東谷小は栃尾東小に再編（栃尾地域 3 小学校 ⇒ 2 小学校）
 - ・令和 7 年 12 月議会に議案を上程し可決
 - ・校舎は栃尾東小を使用（平成 27 年に大規模改造工事済）
- 栃尾南小は、再編について保護者と地域住民とで話し合いを継続

② 中学校

- 令和 11 年 4 月に、秋葉中と刈谷田中を再編（栃尾地域 2 中学校 ⇒ 1 中学校）
 - ・新たな校名案を公募した後、議会に再編及び校名の議案を上程[令和 8 年度予定]
 - ・校舎は刈谷田中を使用（令和 6 年にバリアフリー化工事済）

保護者と住民が教育環境について協議を重ねた結果、令和10年度、11年度の2段階で学校を再編する。

令和7年度長岡市公立学校通学区域審議会報告

1 開催日時及び会場

日時 令和8年2月19日（木曜日） 午前10時から午前11時35分まで

会場 さいわいプラザ 4階 中央公民館 大ホール

2 出席者

委員：25名（定員28名のうち3名欠席）

江田教育部長、事務局：3名

3 会議の主な内容

（1）委員長、副委員長の選任について

（2）報告事項

① 学区外就学許可区域の設定について（雨池町）

② 教育環境を考える保護者懇談会の実施状況等について

《主な意見》

- ・許可校の設定や学校再編について、非常に丁寧に対応いただきありがたい。
- ・この先の児童生徒数の推移のデータ公開をしていただき、より多くの方から子どもたちの教育環境について問題意識を持っていただきたい。
- ・地域住民の声や保護者の声もあると思うが、優先順位としては子どもたちの学ぶ環境を良くすることを第一に考える必要がある。

令和 7 年度第 2 回長岡市図書館協議会報告

1 開催日時及び会場

- (1) 日 時 令和 8 年 2 月 24 日 (火曜日) 午前 10 時～午前 11 時 50 分
 (2) 会 場 中央図書館 2 階 講座室 1

2 出席者

委員 6 名 (定員 10 名のうち 4 名欠席)、江田教育部長、梅沢中央図書館長、
 鈴木ミライエ長岡企画推進室企画担当課長 他事務局 7 名

3 会議内容

(1) 協議事項

- ①令和 7 年度長岡市立図書館の活動評価 (案) について
 ②令和 7 年度米百俵プレイス ミライエ長岡 互尊文庫の取組について
 ③令和 8 年度長岡市立図書館の運営方針 (案) 及び互尊文庫の基本方針 (案) に
 ついて
 ④令和 8 年度の主な事業計画 (案) について
 ※①～④は事務局提案のとおり決定した。

4 主な意見・質問

意 見・質 問	回 答
有効登録者数・実登録者数の減少について、年代別の動向も把握し、対応策に役立ててはどうか。	統計の集計方法について確認し、有効登録者数・実登録者数の減少について分析し、対応策を検討したい。
郷土資料の受入れ冊数減少の原因は何か。	古書の蔵書の充実化や、出版される資料のデジタル化、複本の購入冊数の見直し、網羅的な収集方法の見直しにより内容を厳選して収集していることなどが影響していると思われる。
所蔵資料のデジタル化はどのように進めているのか。県立歴史博物館では、莫大な労力と費用が必要で、単独実施は難しい。	歴史文書館は、デジタル化への自前の体制を持っていないため、他機関のアーカイブなどを利用。県立図書館と連携し、越後佐渡デジタルライブラリーなどで貴重資料を公開している。
学校配本は大変ありがたい。イベント参加者なども図書館利用へつながると思うが、参加の働きかけはどんなものがあるか。	「としょかんくん」の発行や、「こめぷら」からの発信などが主だが、若い保護者は長岡市のラインが一番影響力が高いようだ。

令和 7 年度第 2 回長岡市水族博物館協議会報告

1 開催日時及び会場

- (1) 日 時 令和 8 年 2 月 13 日(金曜日) 午後 3 時から午後 4 時 30 分まで
- (2) 会 場 寺泊きんぱちの湯

2 出席者

- ・ 長岡市水族博物館協議会委員 8 名（定員 9 名のうち 1 名欠席）
- ・ 小林寺泊支所長
- ・ 金垣教育部参事・科学博物館長、五井館長補佐、池田水族博物館長、他事務局 3 名

3 会議内容（議題）

- (1) 令和 7 年度事業実施状況について
- (2) 令和 8 年度事業実施計画について
- (3) 水族博物館整備事業の計画（概要）について

4 主な意見・質問

主な意見・質問	回 答・対応案
新聞で「寺泊水族博物館アクおどの熱気」という記事を目にしたが、詳細はどうだったのか。	ホラーゲーム「アクアリウムは踊らない」の作者が新潟県出身ということで、幼少期から当館を訪れており、当館が作品の舞台となる水族館のモデルの一つとなった。作品とのコラボイベントが実現し、多くの来館者が訪れた。
水槽に手書きで書かれている解説がとてもよかった。	書き過ぎるとペットショップのような売り言葉になってしまうので、細かな解説ではなく、一口メモのような形で制作している。
ビーチコーミング体験への申し込みが少ないが、ビーチコーミングの意味が一般的に知られていないので、具体的にどんなことを体験できるのか、明記してはどうか。	職員間でも同様な意見が出ているので、来年度はイベントタイトルの変更を検討する。

令和7年度第2回長岡市文化財保護審議会報告

1 開催日時及び会場

- (1) 日 時 令和8年3月4日（水曜日）午後1時30分から午後2時30分まで
 (2) 会 場 さいわいプラザ3階 中央公民館3A教室

2 出席者

- ・長岡市文化財保護審議会委員9名（定員10名のうち1名欠席）
- ・金垣教育部参事・科学博物館長、五井館長補佐、鳥居文化財係長、他事務局5名

3 会議内容（議題）

- (1) 大雪による文化財被害状況について
 (2) 長岡市文化財保存活用地域計画について

4 主な意見・質問

主な意見・質問	回答・対応案
(1)大雪による文化財被害状況について ①文化財の復旧に関する補助制度や支援制度はあるのか。	指定文化財の修復に対する補助制度はある。どのような修復・復旧になるのか、決まり次第、予算など具体的な補助内容を検討する。
②市指定文化財「与板条大手門」の倒壊は、今回が2回目となるが、倒壊を防ぐための対策はどうか。	1回目の倒壊時に補強することが検討されたが、所有者の意向で見送られた。今回修復する場合は、文化財の価値を失わず、効果的な修復を検討したい。
(2)長岡市文化財保存活用地域計画について 未指定文化財リストの文化財は、今後いずれかの関連文化財に落とし込んだり、調査・研究する予定はあるのか。	各関連文化財群では、別途リストアップしている構成文化財を中心に活用することになる。しかし、今後未指定文化財リストの中から新たな関連性が出てくるものがあれば、調査・研究することになる。

第7回長岡市文化財保存活用地域計画策定協議会報告

1 開催日時及び会場

- (1) 日 時 令和8年2月24日(火曜日) 午後2時から午後4時まで
- (2) 会 場 さいわいプラザ4階 教育委員会会議室

2 出席者

- ・ 長岡市文化財保存活用地域計画策定協議会委員 14 名（定員 15 名のうち 1 名欠席）
- ・ 金垣教育部参事・科学博物館長 五井館長補佐 鳥居文化財係長 他事務局 1 名
- ・ (株) グリーニングマ 2 名

3 会議内容（議題）

各種意見に対する修正について

4 主な意見・質問

主な意見・質問	回 答・対応案
策定後の進捗管理の体制や方法について聞かせてほしい。	令和9年度から「長岡市文化財保存活用地域計画協議会（仮称）」を設置予定。先行地を参考に体制や評価方法などを検討していきたい。
地域計画を市民に分かりやすく伝えるためのPR等を行い、計画を着実に実行して欲しい。	市のホームページや、各施設などに計画の閲覧資料を設置する。また、概要版（A3両面）を作成し、市民に分かりやすく伝えていきたい。

令和7年度第3回長岡市子ども・子育て会議報告

1 開催日時及び会場

- (1) 日時 令和8年2月18日(水曜日) 午後2時から午後4時まで
- (2) 会場 さいわいプラザ 3階 中ホール

2 出席者

委員18名(定員20名のうち2名欠席)、アドバイザー1名、
子ども未来部長、保育課、こども家庭センター、学校教育課、子ども政策課

3 会議内容

議事(1) 令和8年度 長岡市特定教育・保育施設等の利用定員について
議事(2) 令和8年度 長岡市乳児等通園支援事業(こども誰でも通園制度)の実施施設等について
議事(3) 児童会館・児童クラブ運營業務の民間委託後の状況について
議事(4) 令和8年度 子育て支援に係る予算の概要について
その他 アドバイザーからのまとめ

4 主な意見

委員: こども誰でも通園制度の利用枠について、通園児が欠席した場合、空き枠として利用が可能か。また、現場の職員からは、利用乳幼児が慣れない環境で泣き続けないか心配する声がある。

事務局: すでに入園している園児が欠席した場合、その枠をこの事業には利用できない。また、利用乳幼児は慣れない環境に最初は戸惑うこともあると思う。利用が促進されるよう制度周知に努めたい。

5 アドバイザーからのまとめ

国の資料に示されているように、こども誰でも通園制度は、親のリフレッシュ、一時預かりではない。したがって、「今日空いているから使えますか?」という使い方はない。利用者から相談を受ける中で、サポートプランの中に取り込むなど包括的な枠組みで考えてほしい。この事業では、親が子どもを育てる方法などを学ぶ場となる。定期的に通うことで、園での日常を継続的に見ることができる。子どもとたくさん関わる場面を見てきていない世代の保護者に、保育とはどういうことなのかリアルに伝える場として見ていただきたい。都心部と長岡市とでは状況も違うし、受け止めも違う。長岡市であればこういう方向ができるという形をつくっていくしかない。